

3 協働したことについての評価・点検

(1) 相互評価（評価項目の説明は作成要領参照のこと。⑤～⑨は、()内の主体について評価する）

※⑥⑦は市の対応について評価してください。

※⑧⑨は市民団体の対応について評価してください。

評価項目	市民団体について (1～5)	市について (1～5)
①公正性及び透明性の確保		
②対等なパートナーであることの認識		
③役割分担		
④情報共有		
⑤協働の効果		
⑥組織横断的な連絡体制（市）		
⑦NPO に対する適切な理解と配慮（市）		
⑧守秘義務（市民団体）		
⑨公的資金を使う自覚と責任（市民団体）		

(2) 改善の検討（上記①～⑨のうち、特に改善が必要と感ずること）

改善対象	番号（①～⑨） ※複数可	その理由
双方が改善		
市が改善		
市民団体が改善		

(3) 良かった点や改善提案（自由記入）

4 その他（何か伝えたいことがあれば、自由に記入してください）

市と多様な主体との協働に関する実績・評価 抽出調査シート 作成要領

調査の目的

この調査は、市と市民団体が協働して実施した事業について、市と市民団体の意見を聴取し、協働の今後のあり方を検証するための調査です。

この調査により、事業を協働実施することのメリットを示し、課題があれば改善を検討することで、協働事業を市・市民団体・受益者にとって良いものにしていきたいと考えています。

事業を実施したうえで、感じたこと（良かった点、悪かった点等）があれば積極的に報告してください。また対象事業が複数年に渡る場合は、全体での評価をしてください。

なお、今回の調査シートの結果をそのまま協働相手に見せたり、事業名を公表したりすることはいたしません。協働の姿を市民に示していくために、取りまとめた結果を市ホームページに掲載するなど活用させていただきます。

調査内容の説明

調査は、大きく分けて「事業自体の評価（事業の成果）」と「協働で実施したことの評価（手法の成果）」の2部門で構成しています。

以下の説明を参考にしながら、シートを完成させてください。

1 事業の概要（基本情報）

今回の事業について、基本情報を記入してください。

2 事業の目標設定と成果（事業についての評価・点検）

(1) 事業開始時に共有した事業の目的・目標

・事業を始める段階で、市、市民団体がお互いに共有した事業の目的、目標を記入して下さい。数値目標があった場合は、そちらも記入してください。

(2) 目標の達成状況

・目標が達成できたか、またその理由について記載してください。一部未達成のような事情があれば、その旨も記載してください。

・要因の検証としては、掲載している要因ごとに、目標達成のための良かった要因には「○」を、悪かった要因には「×」を記入してください。どちらでもないものは「-」としてください。その他、要因として挙げられるものがあれば、その内容と「○」「×」を記入してください。

・協働による効果には、協働して良かったと感じる点、市は「単独実施では難しかった点」、市民団体は「市が単独で実施した場合と比べて、自分たちが関わることでどのような効果があったか」について、思うことを記載してください。

3 協働したことについての評価・点検

(1) 相互評価

- ・掲載している9項目について、5段階評価（5が最高点）で自己評価と相手の評価をしてください。
- ・⑥⑦は、「市」の対応について評価する項目です。市は自己評価をし、市民団体は市の評価を行ってください。
- ・⑧⑨は、「市民団体」の対応について評価する項目です。市民団体は自己評価をし、市は市民団体の評価を行ってください。

評価項目の説明

評価項目	評価視点	評価基準
①公正性及び透明性の確保	公正性及び透明性が確保された状況で事業が実施されたか	5:十分に確保されていた
		4:ほぼ確保されていた
		3:最低限確保されていた
		2:やや問題があった
		1:大いに問題があった
②対等なパートナーであることの認識	必要以上に干渉せず、お互いの自主性・主体性を尊重して事業を進められたか	5:一貫して対等な関係であった
		4:ほぼ対等な関係であった
		3:一部干渉があったが、自主性・主体性は損なわれなかった
		2:対等性が脅かされる程度の干渉があった
		1:対等性が損なわれるほどの干渉があった
③役割分担	お互いの特性を理解し、明確な役割分担に基づいて事業を進められたか	5:自己の役割をしっかりと果たした
		4:自己の役割をほぼ果たした
		3:自己の役割を最低限果たした
		2:役割分担はしたが、守られなかった
		1:役割分担をせず、責任の所在が曖昧だった
④情報共有	定期的に情報・意見交換を行ったか	5:十分に情報・意見交換をした
		4:ほぼ十分に情報・意見交換をした
		3:必要最低限の情報・意見交換をした
		2:情報・意見交換がやや不足した
		1:情報・意見交換を全くしなかった
⑤協働の効果	協働により、単独で実施するよりも事業効果があったか	5:期待以上の効果があった
		4:期待通りの効果があった
		3:最低限の効果はあった
		2:期待をやや下回った
		1:期待を大きく下回った
⑥組織横断的な連絡体制 (市に対する評価)	事業実施にあたり、必要に応じて市は担当部署を超えた横断的な連携を図ったか	5:積極的に連携を図った
		4:必要に応じた連携を図った
		3:最低限の連携を図った
		2:連携を図ることに消極的だった
		1:連携を図らなかった -:連携を図る必要がなかった
⑦市民団体に対する適切な理解と配慮 (市に対する評価)	市は市民団体の特性を理解し、適切な配慮をしたか	5:十分な理解があり、適切な配慮があった
		4:一定の理解があり、適切な配慮があった
		3:一定の理解があったが、配慮が十分でなかった
		2:理解に欠け、配慮も十分でなかった
		1:理解に欠け、配慮も一切なかった
⑧守秘義務 (市民団体に対する評価)	市民団体は公的業務を請け負う上での守秘義務を果たしたか	5:守秘義務を十分に理解し、遵守した
		4:守秘義務をある程度理解し、遵守した
		3:守秘義務を最低限理解し、遵守した
		2:守秘義務の最低限の理解はあったが、対応に問題があった
		1:守秘義務の理解、対応に問題があった
⑨公的資金を使う自覚と責任 (市民団体に対する評価)	市民団体は公的資金を使うことの自覚と責任を持って業務に当たったか	5:十分な自覚と責任を持って業務に当たった
		4:一定の自覚と責任を持って業務に当たった
		3:最低限の自覚と責任を持って業務に当たった
		2:自覚と責任がやや欠けていた
		1:自覚と責任が全くなかった

(2) 改善の検討

上記①～⑨の項目で、特に改善が必要だと思う項目の番号を、「双方の改善が必要」、「市の改善が必要」、「市民団体の改善が必要」の当てはまる区分に記入し、その理由を記載してください。該当する項目が複数ある場合は、全て記載してください。

(3) 良かった点や改善提案

その他、協働して事業を実施したことについて、特に良かった点や課題、改善の可能性があると思われる点があれば自由に記入してください。

4 その他

その他、何か伝えたいことがあれば自由に記入してください。

担当：浜松市 市民協働・地域政策課 白柳、木下
TEL 053-457-2094 FAX 053-457-2750
E-Mail shiminkyodo@city.hamamatsu.shizuoka.jp